

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和元年第5回白岡市議会定例会)

第1通告者

16番 石原富子 議員

1 白岡市の災害対策について

今年の台風被害において、水害の怖さを思い知らされた。白岡市は元荒川をはじめ、多くの川を擁し、大雨による増水、越水、洪水の危険性をはらんでいる。平常時からの対策が重要だと考える。

- (1) 台風19号の際の対応はどうだったのか。
- (2) ハザードマップの見直しの必要性があるのではないか。
- (3) 西地区の安全対策はどうなっているか。(住民への周知方法)
- (4) 今回の避難所運営について伺う。
- (5) 福祉避難所について

ア 障害者の対策は想定しているか。

イ 感染症予防対策は想定しているか。

- (6) 災害廃棄物処理について伺う。

2 白岡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について

2021年度から高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画が始まるが、災害時の対応など盛り込むべき項目も多い。現在の取組と第8期の重点目標を伺う。

- (1) 白岡市は高齢者のみの世帯の割合が国や県のレベルよりも高い。
やがては独居となる世帯に対してのサポート体制は考えているか。
- (2) 要介護認定者の推計が毎年約100名ずつ増えている。対策はどうするのか、また財源は考えているか。
- (3) 買い物や病院・外出のための移送支援はどの程度進んでいるか。
- (4) 市内の要支援・要介護者の実数の把握はしてあるか。
- (5) 災害時、要支援者、要介護者に対する避難計画はあるか。
- (6) 第8期の重点目標は何か。

3 市内の郵便局で公的証明書を受けられるようにしてはどうか。

全国的に郵便局が公的証明書を発行している。歩いて行ける場所で

の住民票などの発行をすることは今後必要になってくる。検討すべきではないか。

(1) 住民サービス向上のため、白岡市も導入してはどうか。

(2) 導入にあたり、課題と将来の展望は。

第2 通告者

2 番 野々口 眞由美 議員

1 当市の防災対策について

災害時は正確かつ迅速に最新情報を発信することが不可欠であり、情報の格差を最小限に抑える努力が必要だと考える。台風19号に関しての市の対応を伺う。

(1) 市公式ホームページのスマホ版はいつ作るのか。また、なぜSNSを活用しなかったのか。

(2) 自動音声サービスの拡張はいかがか。

(3) 福島県では、電源喪失ではなく水道設備の水害により送水ができなくなったが、当市の水道設備は水害を想定し、対策をとっているのか。

(4) 想定外の断水時に備えた応急給水体制は。

(5) 災害時における保育園、学童保育の休園判断と今後の対策について

(6) 災害時における選挙の実施と選挙人名簿について

(7) 大川小学校の判決を受け、当市はどのような対策を検討したのか。

2 教員の労働環境について

労働環境のブラック化が大きな問題となり、教員不足も深刻化してきている。そこで、当市における教員の労働環境について伺う。

(1) 当市の働き方改革基本方針はあるか。

(2) 時間外労働は、どのくらいあるのか。

(3) 部活動顧問の負担、ガイドラインの遵守について

(4) 外部コーチ導入の状況は。

(5) 教員間のいじめやパワハラは。

(6) 精神疾患による病気休暇や休職者はどのくらいいるのか。

(7) メンタルヘルス研修の実施状況について

第3 通告者

11番 中川幸廣 議員

1 河川よりの越水・溢水の対策について伺う。

- (1) 市内では、越水・溢水の可能性がある地域があるのか。有ると想定された場合、地域住民への説明と対策は。
- (2) 埼玉県総合治水事務所との連携は。
- (3) 越水・溢水時を想定した防災訓練が必要なのでは。

2 病児・病後児保育の現状と問題について伺う。

- (1) 白岡市が「緊急サポートセンター埼玉」と行っている「白岡市緊急サポートセンター事業」について、事業の概要と利用状況について伺う。
- (2) 運営が行われている状況の中で、「利用会員」・「サポート会員」・「緊急サポートセンター埼玉」の間で、問題となるような点がないのか。あればその改善方法について伺う。
- (3) 平成27年3月に策定された「白岡市子ども・子育て支援事業計画」が平成31年度までの支援事業計画となっている。その中には「病児保育事業」の項目はあるが、今後の課題的な意味合いが強い内容である。次年度以降の計画がもっと深掘りされることを望むが、現在策定中の内容について伺う。また、病児保育について説明・案内がされている「白岡市子育て支援ガイドブック」の配布状況と効果について伺う。

第4 通告者

15番 遠藤 誠 議員

1 ボランティアの領域

- (1) 市費では賄えない仕事があり、ボランティアの領域と考えたらいいのではないか。
- (2) たとえボランティアといえ、経験であり、実績であり、キャリアと考えるがいかがか。
- (3) 放課後児童クラブや放課後子ども教室への対応は有償でできるのか。

2 日常的事業と行事的事業

- (1) 小さな主催者としての市民をもっと評価すべきではないか。

- (2) 集会所の使い方をコミュニティ形成の視点から見直すべきではないか。また、集会所の使われ方の調査が必要ではないか。
- 3 「また聞きカウンセリング」について
 - (1) 教育現場で対象から直接ヒアリングもなく、身体情報もなくカウンセリングと称していないか。
 - (2) 就学支援等の事案審査にスクールソーシャルワーカーを立ち合わせるべきではないか。
- 4 押しなべて国土は脆弱
 - (1) 今回の水害で市は何を学び何を見直すべきか。
 - (2) 市内の河川の河道の確保はこのままでいいのか。
 - (3) 避難の指示は誰のどんな知見で行うのか。
- 5 市民をおいしい野菜のとりこにする作戦
 - (1) 市内農産物の増産を計画に盛り込むめどはついたのか。
 - (2) 地場産品を愛する動機づけとして「市民をおいしい野菜のとりこにする作戦」はいかがか。
- 6 子育て世代に優しいまちに
現状をどう思い、どう対処するのか。

第5通告者

1番 中村匡志 議員

- 1 耕作放棄地の解消について
 - (1) 耕作放棄地の発生原因は何であると考えるか。
 - (2) 相続法及び農地法に関する「特区」の設定により、耕作放棄地発生的一大原因を解消できると考える。内閣府に国家戦略特別区域等提案を行ってはどうか。
 - (3) 平成27年の閣議決定「食料・農業・農村基本計画」に基づく「農地バンク」及び「人・農地プラン」の制度による農地集約化や、法人化による農業経営体の集団化の現状は。また、既に発生した耕作放棄地に関して、これらの施策による解消の実績はあるか（ある場合には面積等）。
 - (4) JA出資型農業法人「なんさいふぁー夢」の市内における現状は。また、既に発生した耕作放棄地に関して、同法人による解消の実績

はあるか（ある場合には面積等）。

- (5) 新規就農者の現状は（リクルーティングの方法、人数、耕作面積、作柄等）。資金面や販路確保等、新規就農者へのサポート体制は十分か。また、既に発生した耕作放棄地に関して、新規就農による解消の実績はあるか（ある場合には面積等）。
- (6) 抜本的な解決策として、しらおか味彩センター直営農場又は市農業公社が耕作放棄地を引き受けて農地の再生・維持を行う必要があると考えるが、いかがか。
- (7) 市内における先端技術（A I ・自動運転トラクター・ドローン散布・水管理システム等）の導入の現状は。市による支援体制はあるか。

2 農業政策と教育政策・社会福祉政策の連携について

- (1) 学校給食において、白岡産食材の供給は主としてしらおか味彩センターを通じて行われているものと承知しているが、具体的な産品（特に米・味噌）につき地産地消の割合・数量や、価格決定のメカニズムは。また、さらなる地産地消の推進は可能か。
- (2) 10月より食品ロスの削減の推進に関する法律が施行され、フードロスの削減が地方公共団体や事業者の責務とされた。しらおか味彩センター「おおぼん市場」の売れ残りについてフードバンクへの寄付を選択できるようにしてはどうか。
- (3) しらおか味彩センター「いっとこ茶屋」の夕方の時間帯を子ども食堂として活用してはどうか（売れ残り食材の有効活用も含め）。
- (4) 生活保護における生活扶助の一部を白岡産の米・味噌等の現物支給にしてはどうか。

第6 通告者

4 番 山 崎 巨 裕 議員

1 いじめ防止対策推進事業について

- (1) 平成29年度と30年度のいじめ防止対策推進事業ではどのようなことが行われたのか。
- (2) 白岡市いじめ防止対策推進委員会条例（以下条例）及び白岡市いじめ防止対策推進委員会の運営に関する規則はどのような経緯で制

定したのか。

- (3) 条例第1条（趣旨）とかかわって平成29年度と30年度のいじめ対策推進事業は十分なものであったか、課題はなかったか。
- (4) 条例第1条を生かした学校現場等に役立つ提言を行ってほしいが、いかがか。

2 教職員の多忙化と今国会に提出されている「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案」について

- (1) 市は教職員の多忙化の問題をどのようにとらえているのか。
- (2) 多忙化に対する対策は講じて来たのか、講じて来たとするなら、どのような対策をとってきたのか。
- (3) 今国会に提出されている「1年単位の変形労働時間制」を導入する「公立学校教員給与特別措置法改正案」について市の見解を伺う。
- (4) 「公立学校教員給与特別措置法改正案」に反対していただきたいかがいかがか。

第7 通告者

8 番 菱 沼 あゆ美 議員

1 SDGsとまちづくりについて

- (1) 国連サミットで採択された2030年までの「持続可能な開発目標」であるSDGsを意識し、まちづくりをしていくことが必要ではないか。
- (2) 地方創生SDGs官民連携プラットフォームで、白岡市も地方公共団体の1号会員として加入しているが、今後はどのような活用を考えているのか。

2 健康寿命の延伸の取組について

- (1) 転倒から骨折し要介護状態になるケースは多い。乳がん・子宮頸がんの集団検診時に行われている骨密度測定の利用状況を伺う。
- (2) がん検診以外に骨密度測定のを設けてはどうか。また、骨粗しょう症の予防・早期発見を促すために啓発セミナーなどをおこなってはどうか。
- (3) コバトン健康マイレージの利用状況と効果は。

(4) 来年度から後期高齢者を対象に、フレイル健診をおこなうようになったが、どのように実施するのか。

(5) 課を横ぐしに連携をし、更なる健康寿命の延伸の取組を推し進め、かつ医療費削減の方向へもっていくべきである。どう取り組んでいくのか伺う。

3 配偶者等からのDV被害者支援について

(1) DVの相談件数の現状を伺う。

(2) 被害者が、相談の場により繋がりやすくしていく工夫をしてはどうか。公共施設だけではなく、市全体に広めていけないか。

第8通告者

17番 江原浩之 議員

1 水害対策について

(1) 里団地の雨水を白岡駅東部中央土地区画整理事業区域内の調整池に排水できないか。

(2) 白岡駅東口付近の白岡駅東部中央土地区画整理事業区域外の雨水整備計画は。

2 自然災害の備えについて

(1) 市の備蓄品の状況は。

(2) 今後必要であると思われる備蓄品は。

第9通告者

10番 加藤一生 議員

1 台風19号上陸時の下水道白岡第1号幹線の越水について

今般、台風19号上陸時、下水道白岡第1号幹線の越水が発生し、近隣住宅の入口付近まで増水した。その状況把握と今後の対応はどうするのか。

2 安心安全メールの現状と今後の展開について

(1) 9月定例議会以降、今日までの受信加入者数の推移は。

(2) 今後、安心安全メールの普及を含めた、市民に対する防災情報の提供手段をどう展開していくのか。

(3) 防災情報の質及び量の充実をどう考えるか。もっと各個々人を意識し、また時空間的にも継続した情報を提供していくべきと思うがどう考えるか。

第10通告者

5番 関口昌男 議員

1 一連の災害からの反省と地域防災計画の見直しについて

(1) 一連の災害の実態について

(2) 白岡市地域防災計画の見直しについて

ア 現在の地域防災計画の作成経過と見直しについて

イ 識者からの提言をどう学ぶのか。

ウ 当面の重点施策として学校の体育館の冷房化を。

(3) 今後想定される災害について

ア 地震災害の想定はどのようになっているか。

イ 白岡市以外の災害避難者の受け入れ体制はどのようになっているか。

2 学習支援事業を小学生まで拡大を

(1) 現行の学習支援事業の内容について

(2) 学習支援事業の成果について

(3) 学習支援事業を小学生まで拡大しては。

3 外国人の子どもの学習支援について

(1) 日本語教育の推進に関する法律の制定と文部科学省の「外国人の子供の就学状況等調査」について

(2) 全国の調査の内容と白岡市の実態との比較について

(3) 今後の充実すべき施策の内容について

(4) 今後の学習支援の充実策について

第11通告者

7番 中山廣子 議員

1 ひとり親家庭等医療費の窓口払い撤廃について

(1) ひとり親家庭等医療費の現在の支給対象者の状況を伺う。

(2) 子ども医療費の窓口払い撤廃と同じようにひとり親家庭等医療費も窓口払いを撤廃すべきと思うがいかがか。

2 「赤ちゃんの駅」について

(1) 市内の「赤ちゃんの駅」の設置状況、利用状況を伺う。

(2) 「移動式赤ちゃんの駅」の設置について伺う。

(3) 市役所に完全個室の可動式授乳室の設置を。

3 予防接種について

(1) 高齢者の予防接種の肺炎球菌ワクチンについて

ア 2014年10月から定期接種制度が始まり5年が経過した。

本市の5年間の接種状況は。

イ 国は本年度から5年間（2023年（令和5年）まで）経過措置を延長することを発表した。先の5年間の接種状況を踏まえ、接種率向上の為の取組についての考え方及び具体的な方法を伺う。

ウ コール・リコールの実施について伺う。

(2) ロタウィルスワクチンの定期接種について。

第12通告者

3番 齋藤信治 議員

1 幼保無償化

(1) 無償化の対象は。また費用は。

(2) 認可外保育園も対象となるが、問題はないか。

(3) 条例による縛りは必要ないのか。

2 プラスチックゴミ問題に取組を

(1) マイクロプラスチックが問題になっている。プラスチックゴミ問題に取り組まないか。プラスチックゴミゼロ宣言、プラスチックスマート宣言を出さないか。

(2) プラスチックを使用しない生活にシフトしないか。

3 ホームスクーラーに支援を

(1) ホームスクーラーをどのように認識しているのか。

(2) ホームスクーラーに支援できないか。

(3) 学校が変わる必要があるのではないか。

4 学校運営協議会は何を目指すのか

(1) 菁莪小中学校に設置された学校運営協議会は、それまでの小学校と中学校の評議員会を合わせた組織です。変化を望めないのではないか。

(2) 地域との連携推進が目的か。小中一貫校を目指すのか。目標が定まっていないのではないか。菁莪地域が抱える問題の一つとして菁莪小中学校の存続に真正面から対峙する（つまり小中一貫校を目指

す) 協議会にすることが必要ではないか。

第13 通告者

9 番 渡 辺 聡一郎 議員

1 空き家のリノベーションで地域活性化を

- (1) 市内の空き家・空地の現状は。また危険空き家・空地の現状についても併せて伺う。
- (2) 空き家バンクの運用状況と課題は。
- (3) 空き家リノベーションの助成制度について伺う。地域活性化や空き家バンク利用促進のためにリノベーション補助の検討はできないか。
- (4) 市有地の有効活用に向けた検討方法について伺う。サウンディング型市場調査の導入により官民連携による土地活用を図れないか。

2 大山地域の活性化策について

- (1) 大山地域の人口推移と人口ビジョンについて伺う。
- (2) 教育委員会では大山小学校の児童数増加を目指し小規模特認校の指定を視野に入れるという。学校の適性規模を図るためには教育委員会だけでなく市による人口政策の推進が不可欠と考えるが、市の考えを伺う。
- (3) 圏央道や国道、地域資源を活かした交流拠点の整備について具体的な検討を始めるべきではないか。レクリエーション的土地利用の調査研究の進め方と専門人材の活用について伺う。

3 大規模水害等を想定した災害対策について

- (1) アンダーパスの冠水対策について伺う。排水先の管理、またキャパシティは十分なのか。
- (2) 水害に強い避難所が少ないと考えるが、水害時の避難を市はどのように考えているか。
- (3) 大雨や竜巻を想定した水害避難訓練等の災害対策について伺う。
警戒レベルに応じた避難訓練や避難方針の再検証が必要ではないか。
- (4) 災害発生から避難所運営に至るまでの地域との連絡・協力体制について伺う。共助の力をどのように活かすのか。
- (5) 避難所開設から運営までの流れとオペレーションについて伺う。

第14通告者

14番 大島 勉 議員

1 介護予防事業について

- (1) 「保険者機能強化推進交付金」について
- (2) 特色ある白岡市の介護予防事業について
- (3) 今後（2025年、2045年問題）の高齢者福祉について

第15通告者

12番 藤井 栄一郎 議員

1 台風被害について

被災状況はどのように把握したのか。各行政区や自主防災会等どのように動いたのか。

2 農業政策について

- (1) 当市の現状は。作付面積、農業従事者数の状況は。
- (2) 当市の特産品である梨農家の減少対策は。
- (3) 台風被害による稲わら処理対策は。

3 土地の有効活用について

- (1) 大山・菁莪地域の活性化を図るべく、人口増加を目指した地域開発を図るべきと考えるが、対策と方針は。
- (2) 下大崎・荒井新田の皿沼地区の開発及び振興策をどのように考えているのか。